

八学大ナイン「神宮で健闘」



明治神宮野球大会を前に、熊谷市長(中央)に健闘を誓った八学大硬式野球部のメンバー

14日の開幕控え 八戸市長に誓う

14日に開幕する明治神宮野球大会を前に、八戸学院大学硬式野球部の新沼館貴志監督と選手らが10日、八戸市庁を訪れ、

熊谷雄一市長に健闘を誓った。

新沼館監督のほか中村健、柳沼巨岡コーチ、十鳥真乙主将、小林直生副主将、鈴木颯都主務の6人が市長と懇談した。新沼館監督は東北地区代表決

定戦で、今春の全日本大学選手権王者・東北福祉大を破ったことが自信になっていると強調。「(副主将の)投手小林と捕手織笠陽多(六戸町七百中―八学光星出)のバツテリーを中心とした守りのチーム。プライドを持って一つでも多く勝ち上がりたい」と熱く語った。

十鳥は「両親や監督、コーチをはじめ、さまざまな人の支えがあった。東北の代表として良い結果を報告できるよう、選手一同全員で頑張る」と力を込めた。熊谷市長は「八学大のさらなる飛躍と、選手たちの次へのステップアップにつながる大会になれば」とエールを送った。

八学大は2013年以来12年ぶりの明治神宮大会出場。初戦は17日の準々決勝で、神奈川大(関東2)と東亜大(中国・四国)の勝者と戦う。

(中村篤希)